

## IHI が業績予想を下方修正 – 業績・財務の方向性を確認して格付に反映

以下は、株式会社 IHI（証券コード：7013）が業績予想を下方修正したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は25日、24/3期通期連結業績予想の修正を発表した。24/3期営業利益（IFRS）は800億円の赤字（前回予想は900億円の黒字）、最終利益は900億円の赤字（同500億円の黒字）となる見込みである。主因は民間航空機向けエンジンの追加検査に伴う補償費用や整備費用等約1,600億円の計上である。これは米航空防衛大手 RTX 傘下の Pratt&Whitney が手掛ける PW1100G-JM エンジンの製造過程で不具合が発覚し、出荷済みエンジンの追加検査が必要になったことによるものである。一般的に、民間航空機エンジンでは、開発プログラムに参加している企業が参画割合に応じて収益と費用を負担するリスク&レベニュー・シェアリング・パートナー方式がとられている。26年までの追加検査で見込まれるプログラム全体の影響額のうち、当社は参画割合である約15%に相当する費用全額を24/3期の業績予想に反映した。また、これに加えて、当社の海外連結子会社が過去に提起していた訴訟の和解合意に伴い、すでに収益認識していた金額と和解金額の差額約150億円も営業損益の減少として業績予想に反映した。
- (2) 多額の赤字計上に伴い24/3期第2四半期末に親会社の所有者に帰属する持分（資本）が毀損するとみられる。一方、上述した2つの事案を除けば業績はおおむね計画通りに推移している。また、エンジンの追加検査は、当社の責に帰するものではなく、かつ、25/3期以降に損失を持ち越さないとしている。そのため本件は当社の収益基盤に直ちに大きなマイナス影響を及ぼすものではないと考えられる。加えて、当社は資産の売却を含め、毀損する資本と想定されるキャッシュアウトをカバーする手立てを検討するとしている。JCRは、25/3期以降の当社業績の方向性やアセットマネジメントを含めた財務改善の方策などを見定めたうえで格付に反映させていく。

（担当） 関口 博昭・山口 孝彦

### 【参考】

発行体：株式会社 IHI

長期発行体格付：A-

見通し：ポジティブ

### ■留意事項

本文に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル